

## 聖書にある数字の意味



古代世界において数字は特別な意味を持つことがあるが、これは聖書においても同様である。ただし、すべての数字が常に象徴的な意味を持っているわけではありません。

1	<p>唯一神、独自性、一体性、一致、初め、始まり。</p> <p>▶「我らの神、主は唯一の主である」(申命記6:4)</p> <p>▶「主は一人、信仰は一つ、洗礼(バプテスマ)は一つ」(エフェソの信徒への手紙4:5)</p>
3	<p>神の数字(完全数)、完結、総体性。古代宗教の多くが3を神的な数字と見なした。</p> <p>▶三人の人(神の使い)がアブラハムを訪ねた(創世記18:1~15)。</p> <p>▶神が定めた年に三度の祭り(除酵祭、刈り入れの祭り、取り入れの祭り)(出エジプト23:14~19)</p> <p>▶預言者ヨナが三日三晩魚の腹の中にいた(ヨナ書2:1)。</p> <p>▶イエスが十字架上で死んで三日の後に復活した(マルコによる福音書8:31、コリント信徒への手紙 I 15:4)。</p>
4	<p>被造物世界の全体性、四方、全世界。多くの文化が四つの風、四つの方角、四季の観念を共有する。</p> <p>▶エデンの園から流れ出る四つの川(ピション、ギホン、チグリズ、ユーフラテス)(創世記2:10~14)</p> <p>▶預言者エゼキエル、使徒ヨハネが見た四つの生き物(エゼキエル書1:4~28、黙示録4:1~8)</p> <p>▶4頭の馬と乗っている者(黙示録6:1~8)</p>
7	<p>完全数。完結、完全、十全。多くの文化で3と同じように聖なる数字とされた。</p> <p>▶七日間で神が世界を造り終えた(創世記1:1~)。</p> <p>▶七日目は神が定めた安息日である(出エジプト20:8~11)。</p> <p>▶七年目に土地を休ませる安息年(出エジプト23:10~11)。</p> <p>▶五十年目(7×7+1)はヨベルの年と呼ばれ、イスラエルの民は解放と贖罪を記念した(レビ記25:8~55)。</p> <p>▶7を基準にして神殿の備品や飾りは製作された(列王記上7:17、エゼキエル書40:22、26)。</p> <p>▶神殿の儀式で七度、犠牲の血を振りまいた(レビ記4:6、17、14:7、民数記19:4)。</p> <p>▶黙示録の幻に出て来る様々なもの(燭台、星、教会、封印、トランペット、鉢等)(黙示録6~11章、15~16章)</p> <p>▶人を赦す回数(七十七または七の七十倍)(創世記4:24、マタイによる福音書18:21~22)</p>
10	<p>10は3と7の総数としての完結した完全性。</p> <p>▶十戒(出エジプト20:1~17、申命記5:1~22)</p>
12	<p>完結、完全。3×4で、神が全地に事を行われる場合に用いられる。</p> <p>▶十二人の首長(創世記17:20、25:16)</p> <p>▶ヤコブの息子たち(イスラエルの十二部族)(創世記35:23~26、49:1~28)</p> <p>▶幻の中での新しい都エルサレムの門の数(エゼキエル書48:30~33、黙示録21:11~14)</p> <p>▶十二使徒(マタイ10:1~4、マルコ3:13~19、ルカによる福音書6:12~16、使徒言行録1:12~26)</p>
40	<p>非常に長いことを意味するが、限られた期間でもある。待つこと、神の与える試練、神の裁きに関係する。</p> <p>▶ノアの洪水の時に雨が降り続いた日数(創世記7:4、17)。</p> <p>▶モーセがシナイ山にいた日数(出エジプト24:18)</p> <p>▶荒れ野をイスラエルの民がさまよった年数(民数記14:33~34、申命記2:7、29:4)</p> <p>▶ダビデ王をはじめ、神の意にかなった王たちの在位年数(サムエル記下5:4、列王記上11:42、歴代誌下24:1)</p> <p>▶イエスが断食し、誘惑に会った日数(マタイ4:2、マルコ1:12~13、ルカによる福音書4:2)</p>